

国際フォーラム『被災地から考える』 11/25(金)～27(日)

※日程・内容は変更になる場合があります

ワーク・ショップ (WS) 等	概要	日程・会場
オープニングセッション 世界におけるフクシマ	各国大使館員により本国における「フクシマ」の発表を通じて、様々な「世界におけるフクシマ」を認識し、その認識のもと、今後どのような取組を行うことが、より良い相互理解につながるか意見交換を実施する。	25日(金) 13:00～15:00 公民館大会議室
高校生による演劇 (パフォーマンス)	ふたば未来学園高等学校の学生による課題提示型の演劇パフォーマンスを披露した後、提示された課題に関して参加者によるディスカッションを実施する。	15:15～15:30 公民館大会議室
二つの被災地 ～熊本と福島～	東日本大震災での復興支援経験者であり、かつ熊本地震での被災者であるコンビーナーの経験と共に、パネリストの振り返りから、「被災地」という共通項をもつ熊本と福島におけるお互いに協力するための方策を検討する。	15:30～17:30 公民館大会議室
復興公営住宅入居者との 共生について考える	双葉地域初の復興公営住宅建設が広野町で開始されていることを受けて、先行事例などを参考に双葉地域内の共生を前向きに進めていくための課題解決を考える。	15:30～17:30 中央体育館2F ミーティングルーム
5年間の振り返り	IRSN (放射線防護・原子力安全研究所 (仏)) として、双葉郡を中心とした被災地での取組の紹介及び今後の復興についての意見交換会。	10:00～12:00 公民館大会議室
海外の視点からの福島 軽食を食べながら考えよう	広野、いわき在住の外国人青年達が住んでみた福島を海外からの視点で語る。	12:00～13:30 公民館研修室1
30年後の故郷に贈る 福島県浜通り高校生 ベラルーシ共和国視察報告	30年前に事故を起こしたチェルノブイリ原発周辺の汚染地域を今年の夏に福島県浜通りの高校生が訪問した。福島の未来を見据えその地で何を思い何を感じたのか?発表や意見の交換を実施する。	13:30～15:30 公民館大会議室
福島をいかに海外とつなぐか ～情報発信者としての役割～	海外メディア等の取材に同行通訳等を行った通訳案内士が海外という外のフィルターを通して気づいた「FUKUSHIMA」について発表し、それに基づき参加者全員によるグループディスカッションを実施する。	26日(土) 14:00～17:00 中央体育館2F ミーティングルーム
被災地から「子守り」を 考える@双葉ワールド	様々な立場で参加者がどのように「子守り」の意味を考えるか「てつがくカフェ」形式で対話し考えていく。	14:00～16:00 公民館研修室1
長きにわたる災害に立ち向 かって「希望」を語り継ぐ	今までの5年間の中でそれぞれの研究・支援活動で見えてきた被災地の現状と課題を報告する。被災地で暮らすことの「困難さ」から「希望」を参加者とともに話し合い、今後の提言となるものを探る。	17:00～18:30 公民館大会議室
「こころの復興」伝統行事の 継承について考える	人と人のつながりの強化等の意義を再確認するため、「まつり」の再開についての意見交換会。	10:00～12:00 公民館大会議室
広野町中学生海外研修報告会 異文化コミュニケーション プログラム in カナダ	カナダを訪問した広野中学生による研修報告を実施する。	27日(日) 10:00～12:00 中央体育館2F ミーティングルーム
双葉の農地と環境の再生、 食と農の地域づくりを考える	帰還後における双葉郡での農地再生や食と農の地域づくりを考える。また、そのような場面において、どのように若い人たちの発想を生かしていくかについても意見交換を実施。	10:00～12:00 公民館研修室1
広野町のくらしと放射線	広野町の除染状況やふたば未来学園高等学校 (社会起業部) とのコラボによる状況評価を発表する。	12:30～15:00 公民館大会議室
ふたばの明日を考える会 (非公開)	双葉8町村の各役場若手職員による「ふたばの明日」についての意見交換会。	25日(金) 13:30～17:00 楡葉町役場
《サイドイベント》		
大茶会	二ツ沼公園茶室でのお茶会の体験。 ※登録制。ご登録は復興企画課まで ☎0240-27-1251	25日(金)18:00～ 二ツ沼総合公園「清明館」
放射線相談室における取組展示	パネル展示などのブース設営による展示。	25日(金)～26日(土) 公民館小会議室
福島における復興の現状 8町村での取組を中心に	復興に向けた取組について、8町村での取組を中心に展示。	25日(金)～27日(日) 公民館小会議室
海外メディア作品& 相双地域スタディツアー紹介	福島通訳ガイドの会で、通訳等を行った結果作成された作品や相双地域スタディツアーなどをパネル展示にて紹介。	26日(土)17:15～18:15 中央体育館2F ミーティングルーム
餅つき大会	広野産の新米を使い食の安全のアピール・風評被害払拭のつきたての餅を参加者にふるまう。	27日(日)午前 中央体育館 外

《クロージング》 27日(日) 16:00～

国際フォーラム “被災地から考える”

11月25日(金)から27日(日)にかけて、広野町などで国際フォーラムを開催します。昨年9月に開催した「国際フォーラム『被災地・広野町から考える』～“幸せな帰町・復興”に向けて～ From “Early Return” to “Happy Return”」で発表された「『広野』からのメッセージ」を受け、「課題は広い地域を巻き込んで合意形成にかかる」ため、様々な関係者を交えて「被災地」にてFUKUSHIMA (福島の原発事故の被災地) 全体の復興に向けて考えます。ぜひご参加ください。



日程 平成28年11月25日(金)～27日(日)

- 開会式およびオープニングセッション
11月25日(金) 13:00～ 場所: 広野町公民館大会議室
- セッションおよびサイドイベント
11月25日(金)～27日(日)
場所: 広野町中央体育館、広野町公民館、楡葉町役場など
- クロージング
11月27日(日) 16:00～ 場所: 広野町公民館大会議室
詳細は左のスケジュールをご参照ください。
また、日程・内容等について変更の可能性がございますので、最新情報はぜひ広野町HPにてご確認ください。ご参加は原則自由です。

広野町HP <http://www.town.hirono.fukushima.jp/>
携帯サイト <http://www.town.hirono.fukushima.jp/i/>